西暦 2026 年　10 月　23 日　第 1.0 版

（臨床研究に関する公開情報）

福山医療センターでは、下記の臨床研究を実施しており、当院にて急性胆管炎で緊急 ERCP(内視鏡的逆行性胆管膵管造影)を実施された方へご協力をお願いしております。

[研究課題名]

当院における急性胆管炎に対する緊急 ERCP(内視鏡的逆行性胆管膵管造影)のタイミングと重症度の検討

[研究責任者]

福山医療センター　消化器内科　医師　日野　真太郎

[研究の背景]

急性胆管炎は、胆汁の通り道である胆管が胆石などで詰まり、そこに細菌が感染して起こる病気です。重症になると命に関わることもあるため、内視鏡を使って胆管の詰まりを解消し、胆汁の流れを確保する治療（内視鏡的逆行性胆管膵管造影：以下 ERCP）をできるだけ早く行うことが大切です。国際的な診療指針では、重症の患者さんには早い段階での治療が勧められていますが、具体的に何時間以内に行うべきかは示されていません。

[研究の目的]

本研究の目的は、当院で急性胆管炎に対して緊急の ERCP を受けた患者さんについて、病気の重症度と、来院から治療までにかかった時間との関係を明らかにすることです。この結果は、夜間や休日を含めた当院の救急診療体制をより良いものにするために役立てます。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

西暦 2025 年 4 月 1 日から西暦 2026 年 3 月 31 日の間に、急性胆管炎に対して当院で緊急の ERCP を受けた患者さん

●研究期間：病院長の実施許可日から西暦 2026 年 11 月 8 日まで

●利用するカルテ情報

年齢、性別、入院経路、来院日時、重症度の判定に用いる診察所見および血液検査結果（意識の状態、血圧、体温、白血球数、血小板数、PT-INR、クレアチニン、総ビリルビン、アルブミン、血液ガス検査の値)、肝硬変の有無、抗血栓薬（血液を固まりにくくする薬）の内服の有無、ERCP の実施日時、入院日、退院日、退院時の状況

●情報の管理

情報は、当院のみで利用します。調査した情報は研究終了後 5 年が経過した日までの間当施設で厳重に管理され、保管期間終了後は紙媒体はシュレッダーにて裁断し、電子媒体は復元不能な方法で消去します。

[研究組織]

この研究は、福山医療センター　消化器内科　にて行います。

●研究代表者

福山医療センター　消化器内科　医師　日野　真太郎

●共同研究者

福山医療センター　消化器内科　医師　豊川　達也

[研究の資金源、利益相反について]

この研究は福山医療センター消化器内科の研究活動の一環として実施され、特定の企業・団体からの資金提供は受けていません。

[研究の参加について]

この研究実施への参加や途中での参加中止は、あなたの自由な意思で決められます。

患者さん又はその代理の方が、この研究への参加（カルテ等の情報を利用すること）にご協力いただけない場合は、研究責任者等又は「問い合わせ先」にご連絡ください。研究にご協力されなくても、診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によっては、この研究の結果が論文などで公表されているなどであなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合は、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[問い合わせ先]

国立病院機構福山医療センター　消化器内科　医師　日野　真太郎
〒720-8520 福山市沖野上町 4 丁目 14-17
電話　084-922-0001（病院代表）